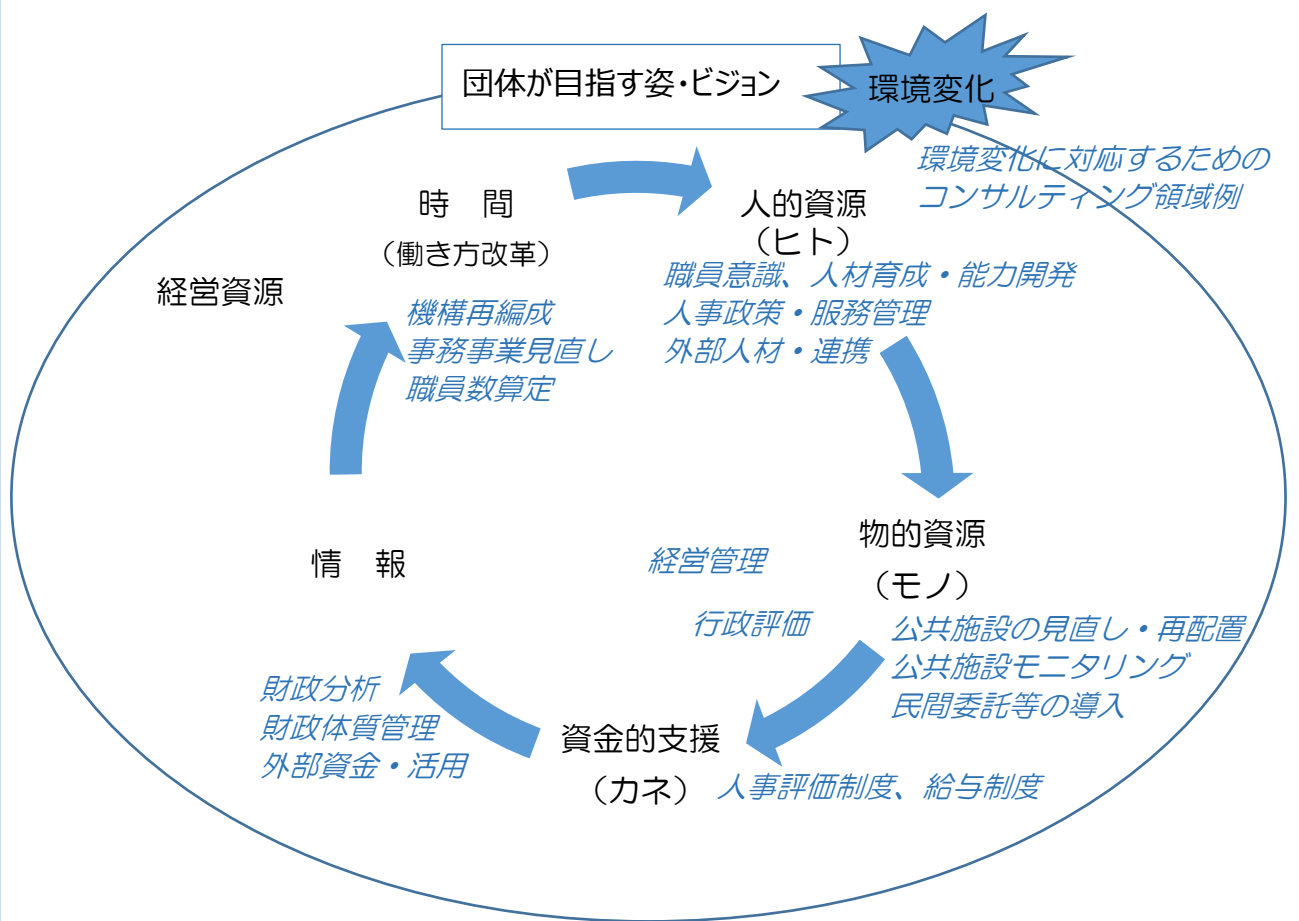


行政診断・コンサルティングのご案内



行政診断・コンサルティングのご案内

一般社団法人日本経営協会について

地方自治体を取り巻く環境は、多様化・複雑化する行政ニーズ、地方分権の進展、少子高齢化への対応など、大きく変化しています。これらの変化に対して、地方自治体は事務事業の改善や、行政評価の適用による仕事のレベルアップなどによりサービス水準を維持・向上させ対処することが求められています。

本会は、60年以上にわたって、地方行政、地方自治体の運営効率化を支援して参りました。この長年にわたる行政診断・コンサルティングの実績を活かしつつ、限りある経営資源を有効活用することを通じて、安心・安全なまちづくり、持続可能なまちづくり、地域創生といった地方自治体の課題解決をサポートしています。

コンサルティングメニュー例

A. 職員定数 (所要期間：3カ月～)

<コンサルティング内容>

- ・定員管理の見直し
- ・勤務形態の改善
- ・職員のモチベーション改善
- ・標準的職員数の分析
- ・任用管理の改善

B. 事務事業見直し (所要期間：3カ月～)

<コンサルティング内容>

- ・事務事業の整理・合理化
- ・民間委託、モニタリング
- ・計画策定と進行管理
- ・事務事業の効率化、情報化
- ・広域処理
- ・事務事業評価による検証

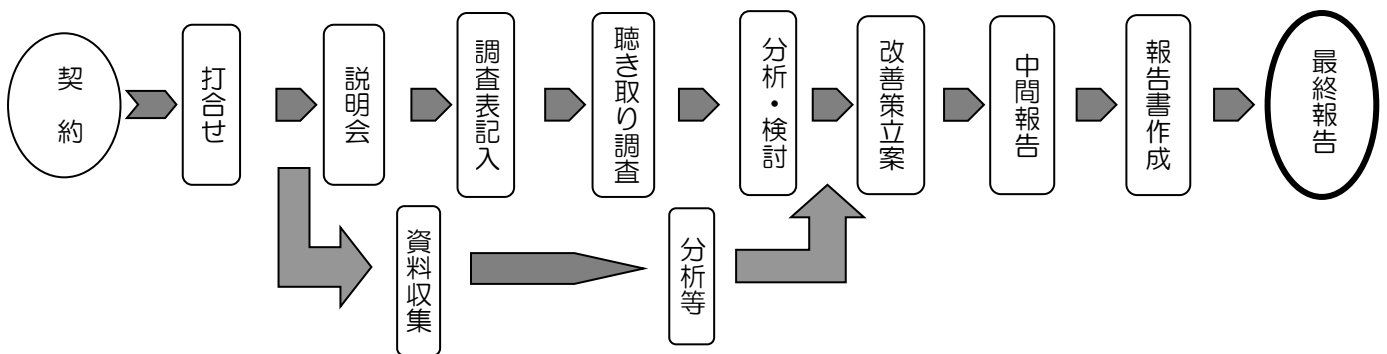
C. 機構再編成 (所要期間：3カ月～)

<コンサルティング内容>

- ・組織機構改善
- ・意思決定と調整、庁議の見直し
- ・動的組織運営
- ・管理階層と権限委譲
- ・部門運営の見直し、連携強化

診断・コンサルティング業務の進め方

A. 職員定数、B. 事務事業見直し、C. 機構再編成の基本フロー。



NOMA 診断・コンサルティングの特色とメリット

- 〔特色〕
- 1 客観的な分析に基づく診断・コンサルティング；テーマ内容別に統計手法を活用する等客観的な分析を行い、改善策を提示します。
 - 2 演繹と帰納による分析・改善；目的指向による演繹的分析と三現主義による帰納的分析を行うことにより、実現可能性と有効性の高い改善策を提供します。
 - 3 フォローアップ体制；診断内容に準拠した改善機運の醸成や人材育成のためのフォローをいたします。（フォロー内容によっては、別途費用が掛かります。）
- 〔メリット〕
- 1 外部の専門家による判断結果が得られるため住民への説明責任を果たせます。
 - 2 第三者による判断結果であり実践に移しやすくなります。
 - 3 職員が自覚していない点についても問題発見でき解決策が得られます。

料金と標準実施期間＜行政診断・コンサルティング A、B、C につき同時に実施するケース＞

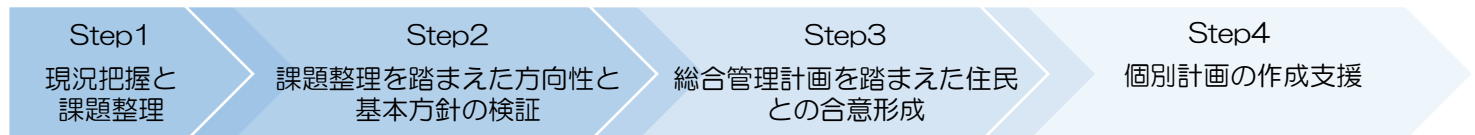
人口1万人までの団体	基本的な所要期間：約4か月～6か月
人口3万人までの団体	基本的な所要期間：約5か月～6か月
人口3万人～5万人までの団体	基本的な所要期間：約6か月～7か月
人口5万人～10万人までの団体	基本的な所要期間：約6か月～8か月

*行政診断以外のコンサルティングにかかる料金につきましては裏面のお問い合わせ先までご連絡ください。

D. 公共施設の見直し・再配置・管理運営の効率化 (所要期間：3カ月～)

＜コンサルティング内容＞

- ・公共施設の現状把握・課題の整理と類似施設の整理・管理基本方針の検討
- ・公共施設等総合管理計画に基づく個別計画の作成支援・公共施設等総合管理計画等の見直し支援



E. 行政評価システムの構築・活用 (所要期間：3カ月～)

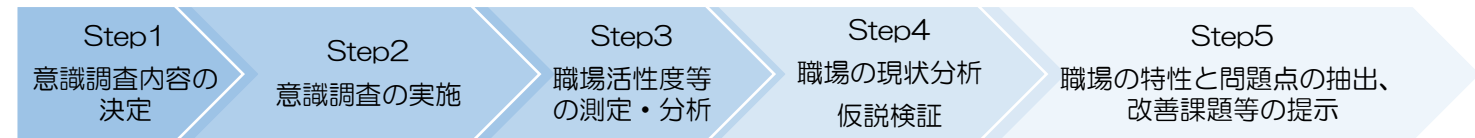
＜コンサルティング内容＞

- ・行政評価の現状分析、構築・見直し
- ・適正評価分析、改善
- ・行政評価の活用、改善

F. 職員意識調査(エンゲージメント調査) (所要期間：5カ月～)

＜コンサルティング内容＞

- ・リーダーシップ分析
- ・組織風土分析、改善
- ・インセンティブ分析、改善



G. 民間委託・指定管理者制度 (所要期間：3カ月～)

＜コンサルティング内容＞

- ・運営、サービスの構造分析、レベル測定
- ・サービス評価の実施と改善
- ・サービス需要の分析
- ・モニタリングの実施

主な行政診断・コンサルティング実績 (2015年度以降 地方自治体のみ。)

岩手中部水道企業団	三春町	五霞町	神栖市
さいたま市	千代田区	山中湖村	函南町
彦根市	山口市	光市	篠栗町
糸田町	みやき町	別府市	糸満市
倉浜衛生施設組合			

このほかにも、次のメニューがあります。詳細は裏面のお問い合わせ先までご連絡ください。

- 組織活性度診断 ●組織融合度診断 ●組織コミュニケーション診断 ●財政分析 ●人事評価制度再構築・浸透支援
- 研修効果測定・研修高度化診断 ●Webによる能力自己診断分析 ●Webによるコミュニケーション力自己診断

その他メニュー例)

●Webによる能力自己診断 … 50の質問に答えることで、保有・発揮する能力を確認できます。

能力自己診断の主な活用例

- ①保有・発揮能力に関する目標水準と自分の結果を比較することで今後の能力向上や行動を考えるための有益な情報が得られます。
- ②研修受講前の自己理解と研修終了後の意識・行動変化を実感できます。
- ③オプションにて行う組織全体の診断結果を踏まえれば、組織全体を見回したときの人材マップが描けます。また人事基礎データとして使うことによって、組織全般の課題解決や人材育成方針・同計画、研修計画策定の参考データとすることができます。

「ヒューマンスキル」「テクニカルスキル」「コンセプチュアルスキル」の3つの観点別に10のスキルについて保有・発揮している能力に関する情報を提供します。

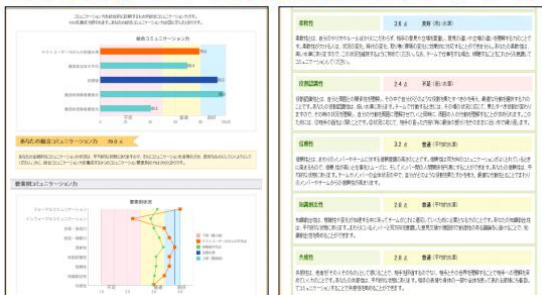
- ヒューマンスキル ⇒ ●折衝スキル ●説明スキル ●協カスキル ●リーダースキル
- テクニカルスキル ⇒ ●情報スキル ●業務管理スキル ●キャッチアップスキル
- コンセプチュアルスキル ⇒ ●改革スキル ●企画スキル ●リードアップスキル

<診断結果イメージ>



●Webによるコミュニケーション力自己診断 … 45の質問に答えることで、成果を産み出すために必要なコミュニケーション力(9要素)と総合コミュニケーション力を今、どの程度保有し、発揮しているかについて確認できます。

Web上で確認できるコミュニケーション力診断結果(個人へのフィードバックイメージ)



NOMA・コミュニケーション力自己診断プログラム(QC-SD)が捉える要素別コミュニケーション力

① フォーマルコミュニケーション	公式的かつ計画的に行われるコミュニケーションのことで、職場での会議や報告などの形で行われるものが一般的です。
② インフォーマルコミュニケーション	職場の中で、あるいは仕事を離れた場で非公式に行われるコミュニケーションのことで、フォーマルな情報を補充したり、新しいアイデアの創出につながる可能性を持ちます。
③ 主張・発信力	自分の意見をわかりやすく相手に理解してもらえるよう配慮して、的確に伝える力のことです。
④ 受容・傾聴力	相手が話しやすい雰囲気をつくり、相手の意見を自然に引き出す力のことです。
⑤ 柔軟性	相手の意見や立場を尊重し、意見の違いや立場の違いを理解する力のことです。
⑥ 役割認識性	周囲との関係を理解し、その中で自分がどのような役割を果たすべきかを考え、最適な行動を選択する力のことです。
⑦ 信頼性	まわりのメンバーやチームに対する信頼意識の高さのことです。
⑧ 知識創出性	複雑性や変化が加速する中においてチームがこれに適応していくために必要となる力のことです。
⑨ 共感性	相手とその世界を理解することで相手への理解を深めていく力のことです。

お問い合わせ先

一般社団法人 日本経営協会 経営研究室

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-31-11

TEL 03-6632-7142 / FAX 03-6632-7152 Eメール center@noma.or.jp

一般社団法人 日本経営協会とは;

昭和24年(1949年)に設立された経営およびオフィスマネジメントの新しい価値の創造を推進する公益法人です。わが国の経済社会の発展に貢献することを目的として、調査研究、セミナー、通信教育、社・職員研修、展示会等各種事業を全国規模で行っています。(NOMAは本会の略称です。)